

1914
10
10



聯合 寫眞 第一號 八年十一月廿五日

◎山本伯令孫の結婚式

┆新郎は慶大ラグビー選手

山本權兵衛伯令孫滿喜子さん（二二二）と實業家阿部圭一氏次男清二君（二七）の結婚式は齋藤首相夫妻媒酌の下に廿五日午後一時から丸の内東京會館で擧げられた、新婦は山本伯の長男海軍中佐清氏の長女、女子學習院卒業の才媛、明朗なスポーツウーマン、得意はテニス、水泳、新郎は慶大ラグビー選手
寫眞は

┆山本伯家のお目出度



◎昭和維新斷行第一日

非常時突破の國民大會

國體擁護聯盟主催の非常時突破國民大會は廿五日正午から芝公園に於て開かれ全右翼陣の熾烈なる昭和維新斷行、現内閣倒壊の叫びを決議に付し各派代表の演説があつた外さきに内大臣廢止論を提唱して國民にショックを與へた田中光顯翁、遠山瀧翁も老軀を提げて卒直に昭和非常時打開を獅子吼する處あつた寫眞は

一 非常時突破の國民大會



聯合 寫真 第一號

十一月二十六日

◎春を待つ店

1914



聯合 寫眞 第二號 十一月廿六日

◎ 皇道義會武道大會

陸軍參與官石井三郎氏を會長とする皇道義會
秋季劍道大會は廿六日午前八時より千駄谷の
禮場に於て皇宮警察部、警視廳各學校劍道部
を初め各地劍道團體百二十餘參加の下に舉行
され午後二時には梨本宮殿下の御台臨あり午
後四時盛會裡に閉會した

寫眞は

一、薙刀部員の基本練習

Small decorative label or stamp in the top left corner of the page.



聯合 寫眞 第一號 八年十一月十七日

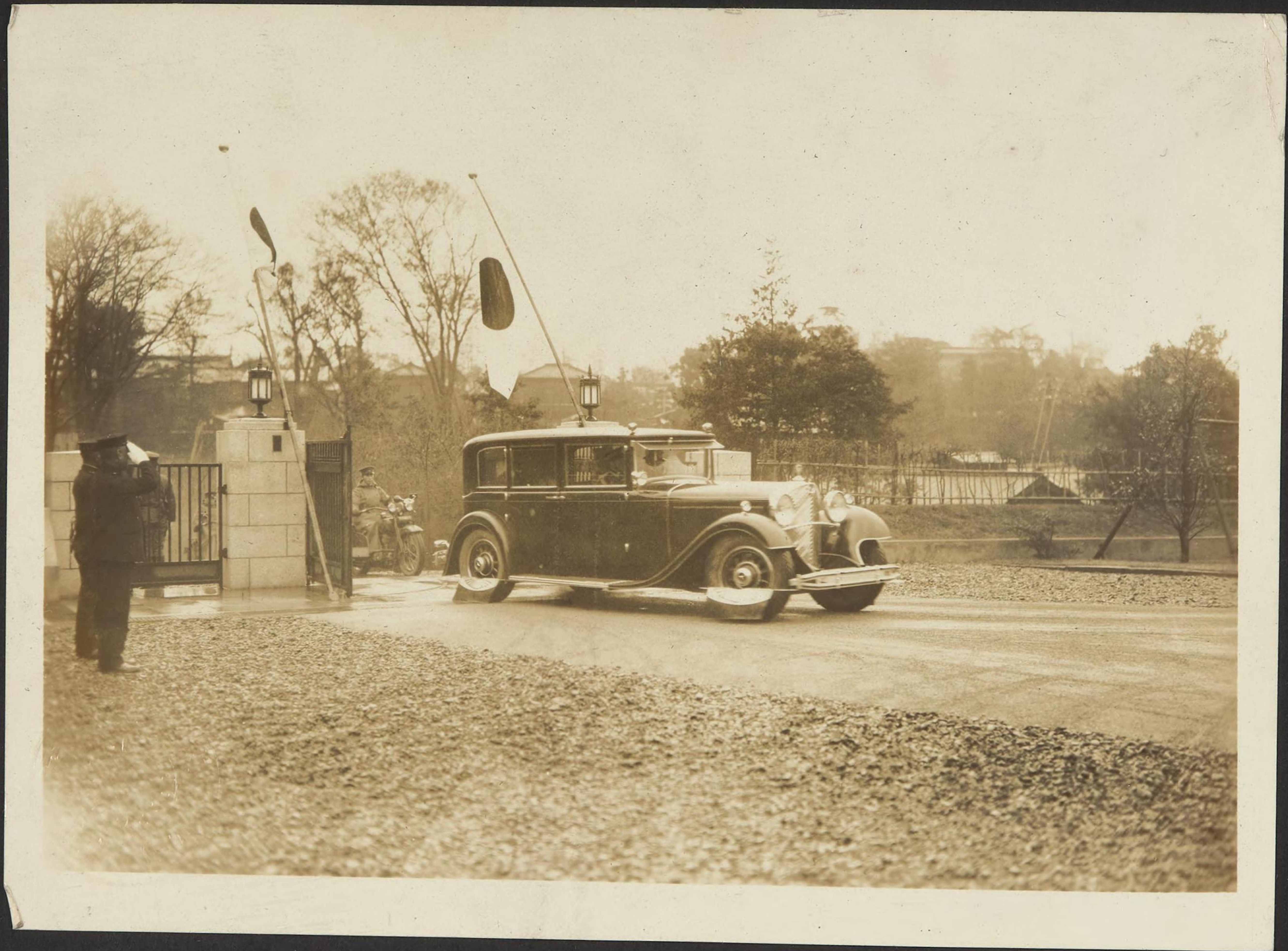
◎聖上海軍大學校行幸

上大崎長者丸の海軍大學校では二十七日天皇陛下の行幸を仰ぎ學生卒業式を舉行、當日陛下には海軍様式御通常禮裝を召され御巡路を経て君が代奏樂裡に御着校、皇族方に御對面參校親勅任官に拜謁仰付られ講演場に親臨、次いで卒業式場に臨御、かくて陛下には御休憩の後午前十一時十分御退校、同廿五分海軍省表玄關へ著御、御壹餐室に臨御伏見總長官殿下並に大角海相、各軍事參議官、藤田次官松山軍令部次長、井上大學校長他海軍首腦部に御陪食仰付られ午后一時十分同所發御天機廳はしく宮城に還幸遊ばされた

寫眞は

一海軍大學校行幸

1935
11
11



◎軍國の少女が兵器獻納

Ⅰ實踐女學校で獻納式Ⅰ

「久方の空よりあだのきそひ來ばふせぎやら
なん女なりとも」校長下田歌子女史の歌を實
地に實踐女學校專門部、女學部、實科部の全
生徒三千二百名及び教職員二百余名で一萬一
千二百圓を醸金九〇式大型聽音機一臺、高射
機關銃二門を陸軍省に獻納することとなりそ
の獻納式が廿七日午後一時から同校々庭に於
て行はれた、雨中にも拘はらず教職員、生徒
三千五百名參列、特に同校出身の李健公妃殿
下御臨席、鳩山文相、山本内相（代）荒木陸
相（代）香坂府知事、牛塚市長（代）等も臨
席、君が代合唱に次いで式を行ひ終つて近衛
四聯隊から出張の將兵によつて所澤飛行學校
から飛行機一臺飛來の上獻納二兵器の操作を行つた

寫眞は

一、獻納兵器の前に立たせらるる李健公妃殿下

5



◎皇后陛下の御慶事近く

めでたき御着帝の御儀

願を擧げて御待ち申上ぐる皇后陛下御出産の日も愈々近く、これに先立つ古例床しき御着帝の御儀は廿八日御九ヶ月の戌の吉辰を卜され天皇、皇后兩陛下出御の上芽出度行はせら

れたこの日勅命を拜された御帝親閑院宮殿下の御使稻垣別當は燕尾服に儀容正し鴨牛より打り三重に

たためる一丈二尺の生半袴の御帯を、金泥に松鶴も芽出度く描かれた白の烏子に包んで納められた蒔繪の御衣笥に捧じて午前八時四十分永田町の御殿を出で宮中に参内、内謁見所に於て廣幡皇后宮大夫に面接大夫は御使より御帯を受けて御内儀に参進午前九時便殿に於て恭しく皇后陛下に捧じ奉り御帝進獻の儀を滞りなく終へさせられ、大夫は此の旨を御帯親宮御使稻垣別當に報告、御使は九時半宮城を退下した、

(詳細記事参照)

寫眞は一、参内の閑院宮殿下

二、閑院宮御使稻垣別當参内(閑院宮邸にて)

55



関院宮御使稻垣別當参内

58



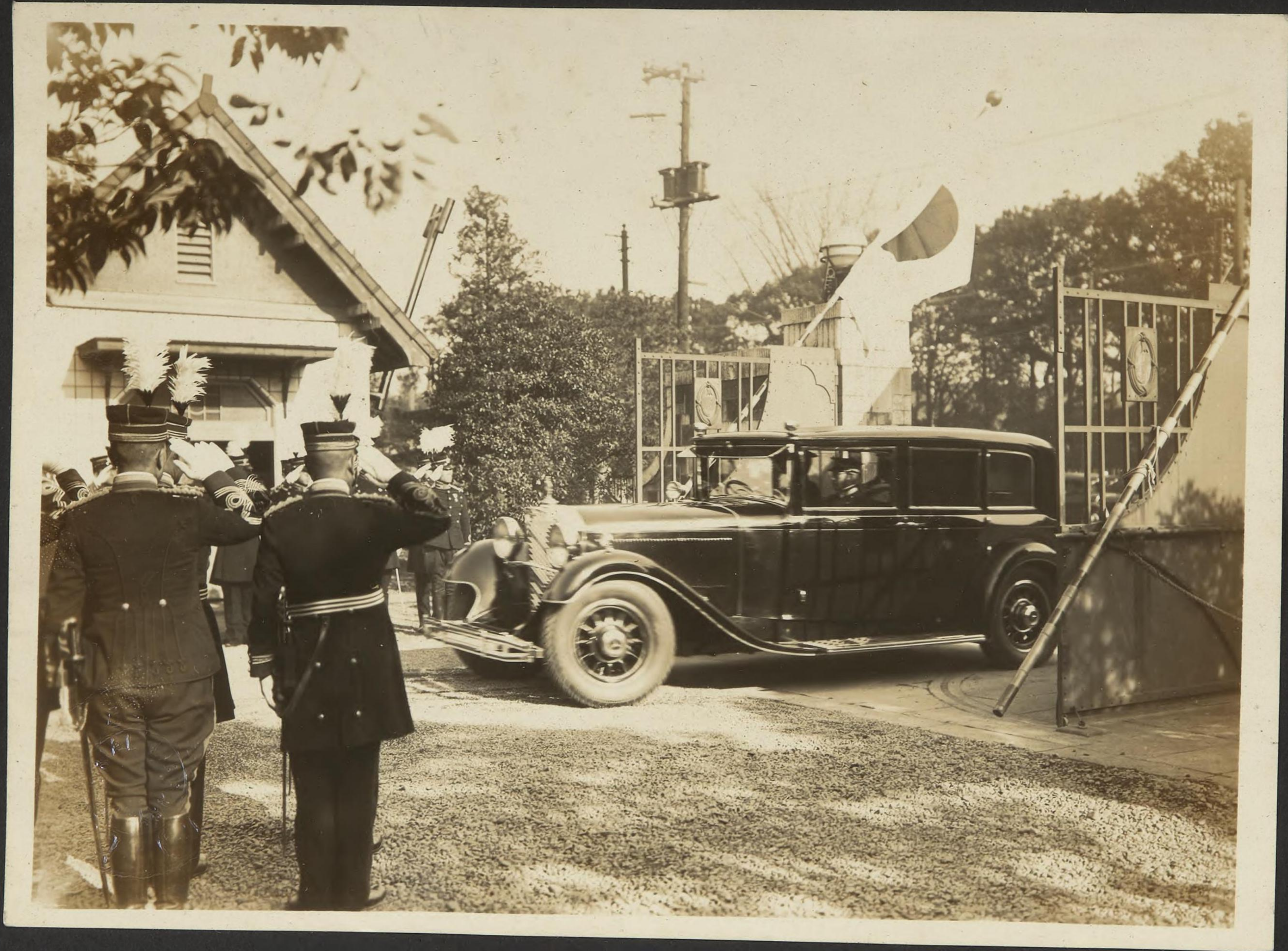
聯合 寫眞 第一號 八年十一月廿九日

◎聖上陸軍大學卒業式行幸

青山の陸軍大學校では二十九日午前十時天皇陛下の親臨を仰ぎ第四十五期學生卒業證書授與式を舉行、陛下には陸軍券式御通常禮装を召され午前九時十分宮城御出門、諸員奉迎程に同二十五分御着校御少憩の後講堂に親臨、圖上戰術を御覽次で卒業式場に臨御廣瀬校長よりそれぞれ卒業證書を授與畢つて川岸侍從武官をして優等學生六名に恩賜の軍刀一振宛を傳達せしめた、かくて陛下には御退校、參謀本部に御立寄り便殿に入御、陸軍首腦部に御陪食仰付られ午后一時二十五分同所發御天機歸しく、宮城に還幸あらせられた寫眞は

一陸軍大學校に行幸

52



聯合 寫真 第五號 十一月廿九日

◎陸軍大學優等卒業生

陸大卒業式に恩賜の軍刀を拜受したものの
寫眞は、(向つて右より)△野重第一聯隊(國
府臺)砲兵大尉藤井瀧人(山口縣)△第十
六師團歩兵第卅八聯隊(奈良)歩兵大尉櫻
井敬三(山口縣)△第一師團野砲第一聯隊
(東京)砲兵大尉於田秋光(大分縣)△第
七師團歩兵第廿七聯隊(旭川)歩兵大尉島
貫武治(宮城縣)△近衛野重第八聯隊(東
京)砲兵大尉牧達夫(石川縣)△第十六師
團歩兵第卅八聯隊(奈良)歩兵中尉山本林
吾(山口縣)

5
52



聯合

寫眞

第一號

十一月三十日

◎佛國大使信任狀捧呈式

駐日佛國大使フェルナン・ピラ氏は三十日午前九時過ぎ山縣迎引式部官と宮中より差廻しの儀裝馬車に同乗麻布富士見町の大使館を出で儀仗兵警衛の下に二重橋より参内、午前十時宮中鳳凰の間に進み天皇陛下に謁見仰付られ信任狀並に前任大使の解任狀を捧呈し一旦御前を退下、午后零時半夫人を伴ひ再び参内豊明殿に於いて御陪食仰付られたが閑院元帥宮、東伏見宮妃兩殿下にも御臨席遊ばされた

寫眞は

一、参内の佛大使ピラ氏（右は迎引の山縣式部官）

52



聯合 寫眞 第二號 八年十一月卅日

◎五・一五民間側求刑公判

一木内檢事堂々の大論告

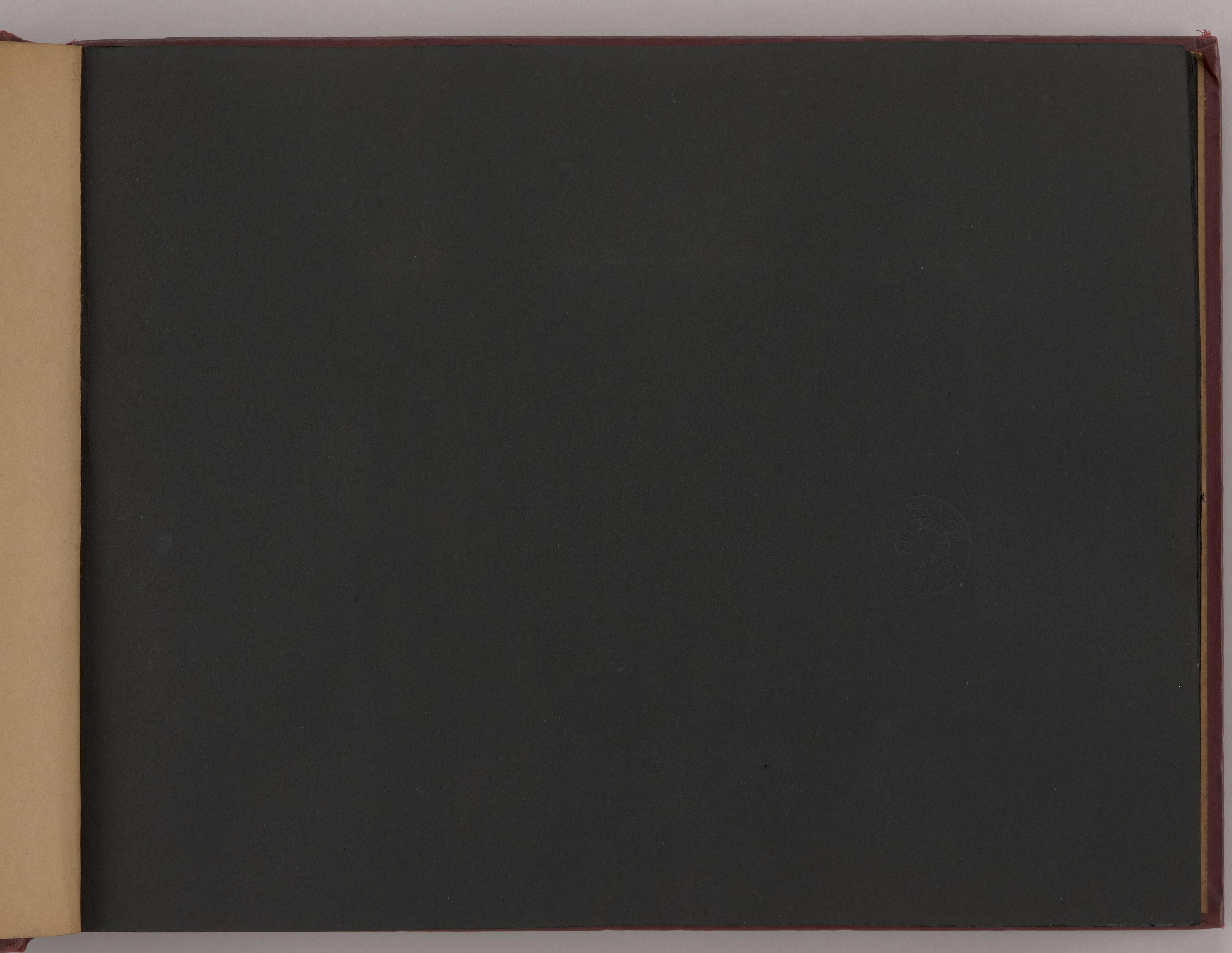
昭和維新を目ざして起つた五・一五事件民間側被告愛郷塾頭橋孝三郎以下二十名にかゝる爆發物取締罰則違反、殺人並に殺人未遂被告事件は東京地方裁判所刑事七部神垣裁判長係り木内、吉江兩檢事立會、五十餘名の辯護士列席で三十日午前九時から陪審一號法廷に於いて木内檢事の堂々五時間にわたる大論告求刑が行はれた、この日の傍聽人は曉かけて押しかけたが先着者六十名を限つて普通傍聽券を交附され嚴重な身体検査と住所氏名を署名して入廷を許された

寫眞は

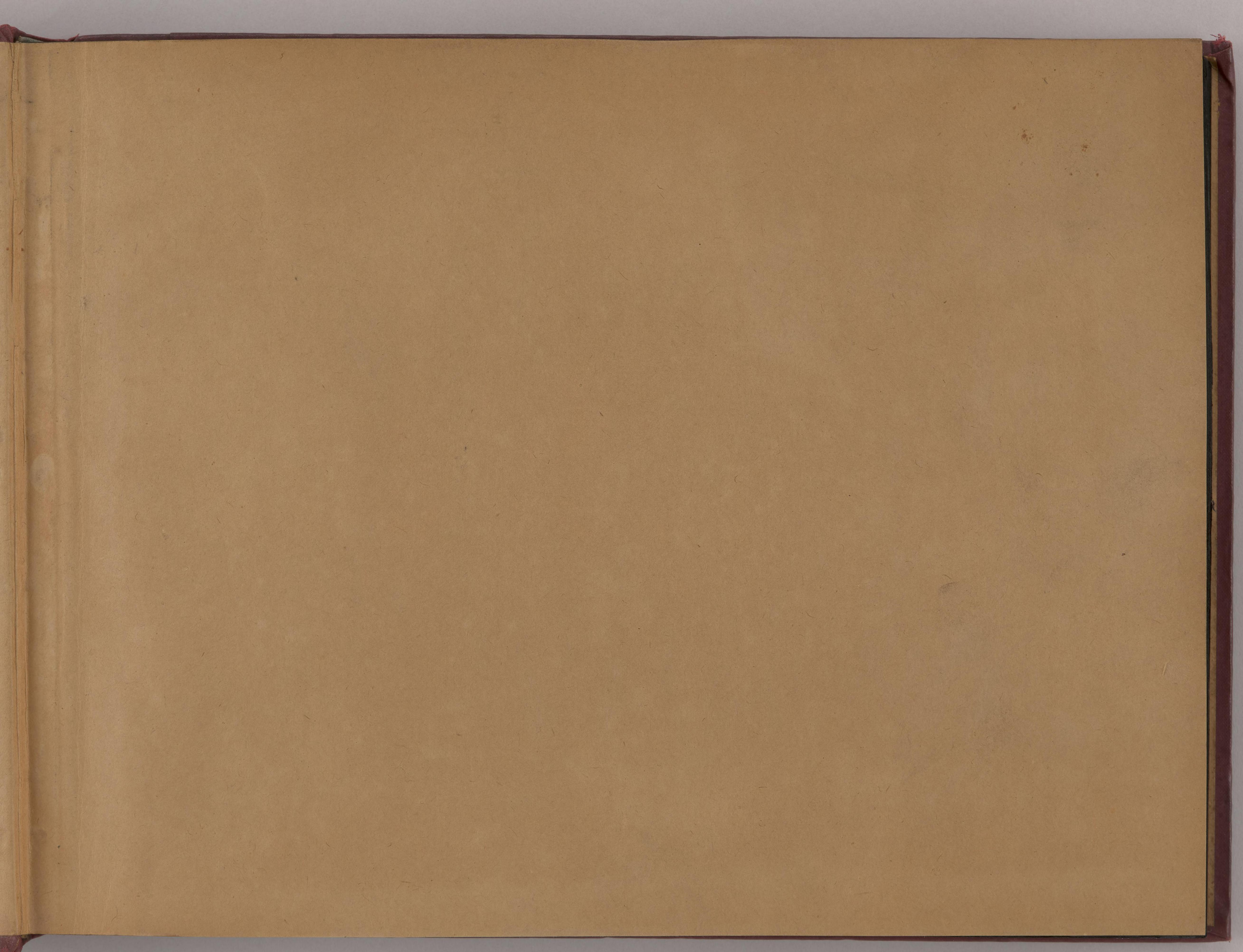
一木内檢事の論告

52





53
52



53
52



